

【評価実施概要】

事業所番号	170201230		
法人名	株式会社二幸		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	〒011 - 0018札幌市北区北18条西2丁目1 - 3 (電 話) 011 - 726 - 6364		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 -0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B (電 話) 011 -281 -5871		
訪問調査日	平成22年3月15日	評価確定日	平成22年3月28日

【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

( 1 ) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 6人, 非常勤 2人, 全職員 常勤換算	7.5人

( 2 ) 建物概要

建物構造	木 造り		
	3 階建ての	2 ~ 3	階部分

( 3 ) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000・40,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

( 4 ) 利用者の概要( 2 月 1 日現在 )

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	2名	要介護 2	2名
要介護 3	3名	要介護 4	2名
要介護 5	0名	要支援 2	0名
年齢	平均 80 歳	最低 69 歳	最高 96 歳

( 5 ) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団野沢医院 橋本歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは地下鉄駅・バス停に近く交通至便な場にあり、住宅街を含む混合地域。また、近くに小・中学校・北海道大学・藤女子大学のある文教地域である。入所者は明るく自力歩行の出来る方が多く、居間に寄りあって仲良く楽しい歌や団樂に時を忘れている。職員は笑顔と優しさで応じ、見守りに徹してきめ細かな介護に努め、さらに、職員相互の学習や研修を深めて資質の向上に努め、積極的に上位の資格取得に挑戦している。地域との関係を深めて地域町内会等と関連行事を通じた交流があり、かつ、支援されている。運営推進会議をほぼ定例に開き関係機関や家族等との関係を深めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	特に改善課題はないが、さらにサービスの向上を目指して努力を重ねている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員は自己評価に積極的に参加し、職員会議や利用者支援のカンファレンス会議の成果を通して、チームケアによる利用者個々の介護支援への成果を見極めるなど、運営全体の改善に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域・学校の行事 清掃・祭り・盆踊り・運動会・敬老会・餅つき への参加等頻繁なお付き合いが自然に行われている。運営推進会議はホームの実情を地域・家族・地域包括支援センターなどにも理解と協力を得る格好な機会として関係を結びかつ運営上の実際を紹介して関係者の助言と協力を得ている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族へは毎月定例的にホームの「ひまわり便り」など行事参加のカラー写真を掲載した情報交換を含む連絡と金銭管理の報告をしており、来訪時には日常の生活の様子を伝え、意向を伺って支援の理解を得ており、日常の介護支援に活かして大きな信頼を得ている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会長や民生委員・近隣の商店との利用者との交流を含めて良き助言を得て、地域の様子をうかがう窓口としている。ホームの活動が地域に浸透しつつあり、行事の呼びかけも多く交流参加の機会が増えている。

## 2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆったりと 楽しく 自由に ありのままに」利用者が馴染みの環境の中で、地域の一員として支えられて生活できる場としてのホーム作りを理念として示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者はじめ管理者・職員一体となって利用者を支える理念の体現者として取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ほぼ定例的に運営推進会議を開催し地域町内会や地区担当民生委員・地域包括支援センターなどの関係機関の協力、さらに家族・利用者を含めた協力と支援の下に地域の行事を通し交流を進めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価の意義を受止め、利用者個々の適切な処遇を目的した協議・検討の成果等をふまえ、全員が参加して全体的な介護支援の具体的な改善に活かすよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の小中学校の諸行事、町内会主催の行事への参加や、ホームの避難訓練の実施報告等を紹介し、運営推進会議委員の意向や協力を得てサービスの向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ホーム運営に関する行政との協議・相談だけでなく、利用者の担当ケースワーカーとの協議の機会を介護支援に活かし、サービスの質の向上を図っている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日常生活ぶりをいかに家族に確かに伝えるかの想いを重ね、定例「ひまわり便り」には地域行事、ふまねっと体操、誕生会、敬老の日、節句の日など多様でかつ個別の連絡事項を書き添えている。また、訪問時の密度の濃い情報交換も家族の大きな信頼を得ている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定例的な活動状況・金銭管理を含むお知らせ、運営推進会議への家族の参加、意見箱の設置など常に家族等の意向を吸収し、会議録等記録して運営に反映するよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>近年の職員就業状況は異動がなく、非常勤者も含め安定している。職員間のチームワークを整え、利用者の安定した生活を支援している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職場内研修のきめ細かさと、職場外研修への弾力的な支援によって職員の意欲の向上を図り、多くの資格取得への挑戦者を生むなど効果をあげている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>札幌市や区毎管理者連絡会での多くの会議・研修会等への積極的な参加、同業者交流による情報交換によってサービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者・家族の信頼と安心を得る事前の雰囲気づくりに努め、見学やホーム生活の流れなどを説明、雰囲気に慣れ馴染んでいけるような理解をすすめている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の生活の歩みや心身の状況等をきめ細かに捉え、理解し、利用者の意向や思いを受け止め、一方的な支援にならないよう配慮して日々の自然で普通の生活関係を築くよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p align="center"><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用のはじめやその後の経過に応じて家族からの多くの情報を加え、さらに、日々の生活から経験する作法に合わせて個々の思いや意向を汲み取り、支援に活かすよう努めている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>チームケアの重要性を職員相互が理解するとともに、利用者・家族の意向を含め個々のケアマネジメント過程を追いながら、個々のケースの支援すべき事項の理解に努めて計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は利用者や家族の意向をふまえた個々の定期的見直しを行うとともに、月例の全体会議でも個々の状況につき対応を協議・検討して、生活状況の変化に応じた随時な計画の見直しを行っている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況や希望に応じた通院・送迎、デイケアへの対応、外出時の付き添いなど個々の状況に応じた支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームの協力医療機関は定期的往診があり緊急対応が可能な関係にある。また、利用者固有のかかりつけ医との関係は家族の支援とともに適切な医療関係が保てるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者・家族の合意の下に医療機関と対応を協議し、重度化と終末期対応の方針を共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>介護の支援に当っては一人ひとりの誇りや個別性を損ねることのないよう会議・申し送り・事例検討時に職員相互が確認・留意して、個々への声かけ等での対応、個人記録の取り扱い・保存管理の適正化を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れの個々の生活を見守り個々の意向・思いを伺いながら、そのリズムやペース・テンポに合わせ楽しい生活となるよう支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューは利用者の希望を受け止め、準備には利用者の得意な役割を活かして調理・配膳・片付けなどを共にし、感謝を伝えて食事を楽しい雰囲気で作れるようにしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者個々の体調や希望に合わせてながらゆっくり楽しんで入浴できる雰囲気作り、利用時間も臨機応変な対応に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々は明るく楽しく振舞い、食事の役割、干し物、花や花壇の世話、カレンダー作り、多くの地域行事への参加など職員の見守り支援と共に多様な活動に満ちている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩や買い物に出かける支援と共に、地域主催の行事への参加も多い。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアの方針のもとに、日々の利用者個々の状態把握を確かにして居場所の確認や見守りを徹底している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>事故等を含め利用者の安全・安心に留意して災害対策に当たっている。消防署の協力での訓練、消火機器の操作、位置の確認など点検に努めている。運営推進会議でも地域の協力を呼びかけている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取状態や水分確保状況を日々確認・記録し、情報の共有に努め、栄養バランスなどを確認して個々の状況に応じた支援に努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>皆が自立歩行の健康者で居間は常時つどい、楽しみの場となっている。採光、室温・湿度・換気に留意し、季節の花や観葉植物、熱帯魚、手作りカレンダーを配置し、利用者の作品展示するなど我が家の雰囲気を作っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は家族と相談して個々馴染みの家具・備品が配置されていて居心地のよい居室作りを工夫している。</p>		

 は、重点項目。